

SSH マンスリー

スーパーサイエンスハイスクール通信

夏季特設課外授業 「関東研修」(1)



国立科学博物館

この施設は地震及び火山噴火に関する諸現象の解明と、その災害軽減の研究を行っている施設です。当日はオープンキャンパスということもあり、様々な展示や実演実験が実施されていました。中でも起震車での地震体験コーナーでは、阪神淡路大震災と関東大震災の揺れ方の違いを体験でき、横揺れと縦揺れの違いを学ぶことができました。また、地震速報のしくみや様々な地震計について丁寧に解説して頂きました。

東京大学 地震研究所

がつていた生徒もいましたが、皆、多くの展示に興味を持ってくれたようです。

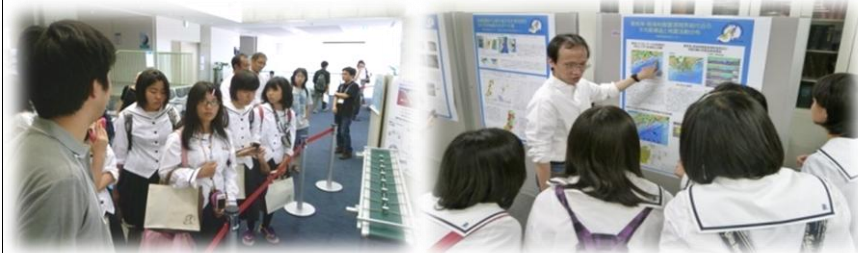


日本で唯一の総合科学博物館で、「日本館」では、日本の自然や、日本人の歴史が体感できました。「地球館」では、トリケラトプスの化石標本や大型哺乳類、鳥類のはく製が数多く展示されていました。また、体験コーナーもあり、生徒もいくつも試していました。さらに、迫力の全球型シアター三六〇では、独特の浮遊感を味わうことの出来、人気がありました。三時間ではとても回りきれず、残念



八月六〜八日、二泊三日の日程で「夏季特設課外授業」が実施されました。今年は関東研修で、初日は、東京上野にある「国立科学博物館」、二日目は、「東京大学 地震研究所」を見学しました。今回のマンスリーではすべてを紹介しきれないので、その後の日程は、次回号で紹介します。

国立科学博物館



東京大学 地震研究所

キシノウエタテグモの生育環境と分布について説明しました。

SSH生徒研究発表会

2年ぶり2回
ポスター賞
受賞!!



八月八日、九日にパシフィコ横浜で行われたSSH生徒研究発表会に科学部生徒九名が参加しました。全国のSSH指定校が一同に会し、ポスター発表で日頃の研究成果を発表しました。本校科学部は「キシノウエタテグモの研究二」というテーマで昨年度より取り組んでいるタテグモの調査結果について発表しました。発表を行った生徒達は、新しいデータも含め普段の研究の成果を審査員や他校の生徒達に熱心に説明していました。結果、全国でベスト二十位以内に授与されるポスター賞を受賞し、今後の研究の大きな励みになりました。

